

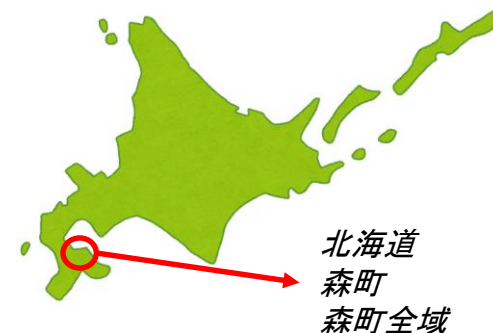
## 取組の概要

取組の概要 : 高糖度トマトの付加価値販売と長期出荷により産地強化を推進  
 計画作成主体 : 森町地域農業再生協議会  
 対象品目 : トマト (産地面積:25.58ha)  
 主な取組主体 : 新函館農業協同組合  
 森町トマト生産振興協議会  
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(10a当たり)  
 助成金の活用 : 生産支援事業 (ハウス資材)  
 状況 (機械リース 選別機一式等)

## ポイント

外観・内部品質選別機を導入し、選別精度の向上を図り、品質保証による高糖度トマトの付加価値販売や、労働力不足に対応した環境制御機器のリース導入等による省力化と作付拡大により、出荷期間の延長と規格基準の高位平準化を図り、販売額の10%以上の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積 : 23.75ha、秀品率 : 15.4%  
 温度管理労働時間 : 1,644.1hr/10a  
 生産者段階での労働力不足により製品率が向上せず、作付面積が拡大していない

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 25.58ha、秀品率 : 20.0%  
 温度管理労働時間 : 1,582.6hr/10a  
 省力的生産体制を確立し、作付面積拡大や生産性・品質の向上、販売力強化



## 推進体制

地域の関係者(森町、JA新函館森支所、農業改良普及センター、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

森町トマト増収プロジェクトを立ち上げ、土壌・栄養診断に基づく適正施肥の徹底や栽培技術を統一し、年間生産量2,000t達成を目指す。

〈道・市町村単独事業〉

スマートアグリ推進事業と連携し、ハウス自動換気装置現地研修会等を開催して省力化を推進。

## 事業効果

外観・内部品質選別機の導入や環境制御機器のリース導入等により、作付面積の拡大と秀品率の向上、規格外品率の低減、高糖度トマトの生産により、生産量と販売額が増加し長期出荷産地としての強化を実現。

～トマトの販売額の増加～

